

2018－2019年度RI第2660地区 地区大会盛大に開催される！

大会副委員長 米倉彦之

2018－2019年度RI第2660地区地区大会は、2018年12月7日（金）～8日（土）の両日大阪国際会議場並びにリーガロイヤルホテルにて、山本博史ガバナーのもと、我々大阪南ロータリークラブがホストクラブとなり開催されました。



大会テーマは、今年度RI会長バリー・ラシン氏が掲げた今年度テーマ「インスピレーションになろう」です。山本ガバナーが策定された第2660地区ビジョンに沿った大会を目指しました。

大会の2年以上前から準備を進め、小谷公穂大会委員長のもと、準備委員会、実行委員会に多くの方々にご参加いただき、総力を結集して大会に臨みました。RI会長代理には、小沢一彦氏をお迎えし、元RI会長田中作次氏はじめ60名を超える来賓の方々にお越しいただきました。RI会長歓迎晩餐会は、リーガロイヤルホテル光琳の間が埋め尽くされるほどの452名の参加、本会議では1,901名の登録となり、数の上でも大盛況の大会となりました。

大会1日目の会長・幹事懇談会では、米山奨学生講演、ロータリー財団グローバル奨学生帰国報告があり、我々ロータリーの活動の成果を実感することができました。休憩をはさんで、小船井修一パストガバナー、片山勉直前ガバナーの講演があり初日の行事は終了しました。忘れてはならないのは、来賓のご婦人方へのエクスカージョンとして、フラワーアレンジメントのワークショップを開催し、その作品が晩餐会のメインテーブルを彩ったことです。RI会長歓迎晩餐会では、バンドネオン奏者の小松亮太氏が昔懐かしいタンゴの名曲や聞き覚え

のあるTVの番組のテーマ曲に至るまで演奏し大好評でした。

大会2日目は、友愛の広場を充実させ、人道奉仕活動で定評のある15団体が出展しました。八木早希アナウンサーの司会進行でオープニングセレモニーが開催され、その後各ブースの紹介が本会議場スクリーンに映されるなど、奉仕活動のヒント、アイデアを紹介することができました。

そして、いよいよ本会議を迎えました。小谷大会委員長の開会挨拶の後、来賓紹介、クラブ紹介と進み、山本ガバナーから30分に亘り詳細かつ明解な地区現況報告、小沢RI会長代理から国際ロータリー現況報告、更に表彰、決議案採択とプログラムは順調に進められました。公演は、クローズアップ現代等の報道番組で著名な、現在、FAO（国連・食糧農業機関）親善大使の国谷裕子氏を招き「新しいモノサシで考えよう～私が、今伝えたい持続可能な社会」をテーマに講演をしていただきました。

本会議の終盤、小沢RI会長代理からの講評の時間となりました。小沢氏はRI会長代理を20回務められていますが、過去の実験からしてもこの地区大会はすばらしかったと評価をいただきました。久我会員との50年ぶりの再会を語られたことは印象に残ります。その後、小林二郎会長がハンブルク国際大会大阪ナイトをPR、次年度ホストクラブの大阪西南ロータリークラブを紹介した後、本地区初めての企画となる大阪南RC会員各位からの協賛による商品の詰め合わせ「ナニワの福袋」の当選番号を発表し、大いに盛り上がりました。締めくくりは小林会長の挨拶で大会は大成功のうちに幕を閉じました。新開隆浩大会幹事はじめ各実行委員会メンバーの能力と行動力と熱意が大会を成功に導いたと思います。

大会終了後行われた打ち上げ会では大会の成功と達成感、開放感から大いに盛り上がり、この大会を通して大阪南RCがさらに結束し、活性化したことを実感しました。

本大会に御協力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。皆様本当にありがとうございました。